

令和3年度事業計画書

社会福祉法人 龍心会

1. 法人の理念

- 経営理念
- 一、真心をこめた丁寧なサービスをめざします。
 - 一、ご利用者・ご家族との信頼関係を大切にします。
 - 一、地域から選ばれる施設、必要とされる施設を目指します。
 - 一、幼老交流を通じた個人の尊厳の維持と、心身の健やかな育成を目指します。
 - 一、仕事をつうじた職員の自己実現を目指します。

2. 今年度の経営方針

新型コロナウイルス感染症の影響に的確に対応しながら、法人理念のもと、丁寧・納得・満足のいくサービスを提供し、これまで以上に地域に根ざした福祉・保育サービスを実現し、地域に必要とされ、信頼される施設として継続的改善を常に心掛けてまいります。

3. 今年度の事業目標

- (1) 新型コロナウイルス感染蔓延防止に向け、今まで以上の感染対策に努めます。
- (2) 高齢者や児童などに対する虐待防止、身体拘束防止などコンプライアンスに努め、安心して任せられる施設づくりを目指します。
- (3) 研修会の定期的な開催など職員の質を高めることにより、サービスの質の向上に努めます。
- (4) 稼働率の向上、財務体質の改善に努めます。
- (5) 社会福祉法人の使命として、地域福祉へのより一層の貢献に努めます。

4. 法人本部

重点目標

新型コロナウイルスの影響で経営環境の見通しが困難なことから、当面は感染症対策や新しい日常を踏まえた対応を第一として取り組んでまいります。

また、地域に根ざした社会福祉法人としての経営基盤をより強固なものとし、将来にわたり安定的にサービスを提供し続けられるように、更なる財務体質の改善（収支バランスの取れた安定した施設経営）、ガバナンス体制の構築、法令遵守の徹底及びリスクマネジメント対策等の徹底を図ります。

(理事会・評議員会の開催予定)

令和3年5月 第1回理事会 令和2年度決算報告・令和2年度事業報告
次期役員候補の選任

定時評議員会 令和2年度決算承認、次期理事、監事の選任
第2回臨時理事会 理事長の選任、評議員選任・解任委員の選任、
第三者委員会委員の選任、施設長選任等
令和3年度 評議員選任・解任委員会 評議員の選任
令和3年11月 第3回理事会 令和3年度上期中間決算・第1次補正予算
令和4年3月 第4回理事会 第2次補正予算・令和4年度当初予算・令和4年度事業
計画

5. 介護老人福祉施設 ハートヴィレッチ
介護老人福祉施設 ハートヴィレッチⅡ

(1) 基本方針

「思いやりの心」の経営理念に沿った安心感と信頼感のある介護サービスの提供を目指します。

(2) 取り組み及び重点目標

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、適切な対応を図る。
- ②基礎介護技術の向上、及び介護ニーズの把握と的確な対応。
- ③専門性の高い職員を育成することによる介護サービスの向上。
- ④栄養管理、衛生管理及びリスクマネジメント対策の充実。
- ⑤幼老交流、季節行事、その他レクリエーション等の企画・運営による充実した生活の確保と保証。
- ⑥介護実習やボランティア、介護相談員等の積極的受け入れによる地域貢献とサービス向上。
- ⑦各種委員会及び会議の定期開催による施設方針の確認と徹底、並びに介護サービスの質の向上。
- ⑧稼働率と関連づけた財務分析の徹底による利益率の向上。
(目標平均稼働率 90%)

6. 短期入所生活介護事業所 ハートヴィレッチ
介護予防短期入所生活介護事業所 ハートヴィレッチ

(1) 基本方針

「思いやりの心」の経営理念に沿った丁寧で満足、納得の得られる介護サービスを提供し、繰り返しご利用いただけるよう真心を込めたサービスを目指します。

(2) 取り組み及び重点目標

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、施設内の環境整備はもとより、ご利用者

の健康面を十分把握して対応する。

- ② 自立的な日常支援と、心身の機能の維持並びに身体的、精神的負担の軽減。
- ③ ご家族及び介護支援専門員との関係を密接にすることによる利用者の心身の状況、その置かれている環境や保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握。
- ④ 健康管理・衛生管理及びリスクマネジメント対策の充実。
- ⑤ 苦情処理体制の強化、並びにフォローアップ体制の充実。
- ⑥ 稼働率向上に向けた渉外活動の強化（空床情報の定期提供と、緊急ショートに柔軟に対応できる環境形成、等）
（目標平均稼働率 85%）

7.

通所介護事業所 ハートヴィレッヂ 介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業所 ハートヴィレッヂ
--

(1) 基本方針

「思いやりの心」の経営理念に沿った「地域に溶け込んだデイサービス」を目指します。

(2) 取り組み及び重点目標

- ① 新型コロナウイルスの影響による感染対策をしっかりと行い、蔓延防止に努めながら稼働率向上を目指す。
- ② 基礎介護技術の向上、及び介護ニーズの把握と的確な対応。
- ③ 個別性の高い介護（支援）サービス（機能訓練・レクリエーション・コミュニケーション・喫茶・食事等）による、五感で楽しめるサービスの充実。
- ④ 地域貢献（職場体験の受け入れ、キャラバンメイト・認知症サポーター講座等への積極参加）
- ⑤ 個別機能訓練の充実による機能改善及び機能減退防止。
- ⑥ 地域（地域包括支援センター・居宅介護支援事業所）との連携強化による稼働率の向上。（目標平均稼働率 77%（1日平均 20名））

8.

居宅介護支援事業所 ハートヴィレッヂ

(1) 基本方針

「思いやりの心」の経営理念に沿い、ご利用者・ご家族が住みなれた地域で安心して暮らせるような支援を目指します。

(2) 取り組み及び重点目標

- ① 担当ケース数の確保と増強による安定した事業所経営、及びより多くの信頼関係の構築。（目標担当ケース数：介護支援専門員 3名合計 105件）
- ② 専門職としてのスキルアップによるアセスメント・モニタリングの質の向上。

③外部（他事業所・他職種）との連携強化による、よりニーズに沿ったケアプランの作成。

9.

福祉有償運送事業所	ハートヴィレッチ
-----------	----------

(1) 基本方針

「思いやりの心」に沿った移送サービスを徹底し、かつ公益的取り組みの主旨に沿った事業所運営を継続します。

(2) 取り組み及び重点目標

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、車内の感染対策、職員ならびにご利用者の健康管理を徹底し、サービスを行う。
- ②福祉有償運送を必要とする地域の方に対し、そのニーズに迅速・的確に対応し得る利用しやすい環境を継続。
- ③無事故・無違反、徹底した安全運転による、ご利用者・ご家族が安心して利用できる環境を継続。
- ④「地域における公益的な取り組みを実施する責務」を果たす為、「日常生活又は生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で移送サービスを積極的に提供する」体制づくりの継続。

10.

エンジェルハート保育園
保育所 エンジェルハート保育園
一時預り事業 エンジェルハート保育園
子育て支援事業 たつのこクラブ
病児保育事業 エンジェルハート保育園

(1) 園の基本方針

「思いやりの心」を基本に、常に子どもたちの目線に立ち、子どもひとりひとりの成長に応じた保育を心掛ける。多くの周囲の方々と関わりを持ち、異世代とコミュニケーションを通して、社会で自立した人間として力強く生きていくための人間力の成長を図る。また、本地域の保育拠点としての役割を担い、子育て家庭に対して支援の充実を目指す。

(2) 保育所 エンジェルハート保育園としての取り組み

1) 食事

嗜好調査や残食調査等を基に、子どもたちの嗜好に沿い、その上、料理の色彩にもこだわり、栄養バランスのとれた美味しい給食を提供する。毎月の誕生日会では、子どもたちが特に好むメニューを、七夕や豆まき等の行事の日は、行事にちなんだ給食を提供する。

2) 健康管理

各担任が子どもの健康状態に注意し、視診・触診を定期的に行ない、疾病の早期発見に心掛ける。手洗い・うがいを励行や、空気清浄機で空間を整備、また、ミクロテクトまたはアルコールで室内中を拭いてウイルスの除菌を行ない感染症が流行しないようにする。

3) 衛生管理

法定で定められた水質検査や塩素消毒等を遵守するとともに、施設内外を常に清潔に保つ。今年度は特に、新型コロナウイルスの感染対策を徹底していく。

インフルエンザ対策として近隣地域の発症状況を踏まえ、マスク着用を励行するほか、保護者様の入室人数制限を設けるなどの対策を講じる。

4) 保護者対応

各担任と保護者が子どもたちの保育園での姿について情報共有し、子どもたちのより健やかな成長を目指し、保護者様との密接な関係を構築する。

5) 行事の実施について

行事は、子どもたちの成長過程において不可欠なものである為、基本的には行事を中止すること無く進めていくが、世間情勢を見ながら開催を検討していく。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、ZOOMでのオンライン配信等、新たな試みをしながら行事を行ってきたが、令和3年度は保護者の有無や実施の有無、実施方法についてその都度検討する。

6) 会議について

職員会議…………… 園長を始め、保育から外れることのできるすべての常勤職員が出席する。

保育会議…………… 園長、主任、各担任が出席し、子ども毎に最良と思われる配慮について意見を出し合い、個別の保育方針について検討する。

食事会議…………… 園長・主任・委託業者の担当調理師及び責任者が出席し、行事食や食事の安全性・味及び彩りなどについて話し合う。
子どもたちの嗜好調査を行う。

乳児会議…………… 主任・フリー保育士及び0～2歳児担任が参加し、行事や日々の保育について検討する。

幼児会議…………… 主任・フリー保育士及び3～5歳児担任が参加し、行事や日々の保育について検討する。

7) 行事

別紙「年間行事計画予定表」参照

(3) 一時預り事業 エンジェルハート保育園としての取組み

1) 利用者の確保

1日3名を目安にお預かりを目安としてお預かりするように事業を進めていく。本事業に一日通して専念できる職員を配置し、子どもを預かれる体制作りを図り、保護者により安心してご利用頂けるようにする。

2) 保護者への支援

多忙や様々な困難を抱える保護者へ寄り添い、必要に応じて保育時間等の相談に応じ、保護者に寄り添って対応する。

(4) 子育て支援事業 たつのこクラブとしての取組み

1) 利用者の確保

親子で参加できるイベントを毎月取り入れる。特に、制作は人気があり継続する。新たに離乳に関する講座を設け、地域の子育て家庭の支援を行なう。

2) 保護者への支援

主に乳幼児の子どもと子どもを持つ親が交流を深める場になるよう、気軽に遊びに行くことができるような雰囲気作りを行ない、同じような境遇の親子で交流できるようにする。また、子育てについての不安や悩みも相談を受ける。

(5) 病児保育事業 エンジェルハート保育園としての取組み

1) 基本方針

こどもが保育中に微熱を出すなど体調不良となった場合、保護者が迎えにくるまで緊急的に看護師が対応する。

看護師の医療を専門とした職員を配置し、子どもたちの安全性の向上及び、安心して保育のできる環境を整えることにより保育の安定性の向上を図ることを目的としている。

2) 健康管理

投薬や塗り薬の塗布等、医療行為に当たることは看護師が行う。また、カウプ指数の管理や、園児の疾病管理も看護師に一任する。

1.1. エンジェルハート学童クラブ

(1) 基本方針

「思いやりの心」を基本に、常に子どもファーストの視点に立ち、子どもひとりひとりの成長に応じた育成支援を心掛ける。

広く地域の育成支援の場としての役割を担い、子育て家庭に対して支援の充実を図る。

(2) エンジェルハート学童クラブとしての取組み

1) 利用児童の確保

エンジェルハート保育園の卒園児が半数程度学童入所を希望した。令和3年度4月時点では28名でスタートする。児童の様子を見ながら年度途中でも入所募集する。

2) 保護者対応

学童指導員と保護者とが子どもたちの学童クラブでの姿について情報共有し、保護者様との密接な関係を構築する。また、指導員と保護者とのコミュニケーションツールとして連絡ノートを用意する。

3) 行事の強化

県民の日の遠足、夏の遠足、お別れ遠足などの昨年度に行った行事に加え、季節に応じた行事や手作りおやつを追加していく。

4) 学童会議について

所長を始め、すべての職員が出席する。気になる子どもについて配慮について意を出し合い、個別の保育方針について検討する。

5) 行事

別紙「年間行事計画予定表」参照